

松本新太郎 直前ガバナーへの 感謝の言葉

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー 岡部 泰鑑



松本新太郎直前ガバナー

松本新太郎 直前ガバナーは、昔でいうところの“甲南ボーイ”です。外見上スマートで背丈もあり、気高さも感じられます。又、松本さんは高尚な趣味の持ち主で、日本古来の伝統芸術である歌舞伎に造詣が深い方です。ガバナーという衣の堅苦しさは外には見せずいつも笑顔で対応され、青少年部門等の送迎には、いやな顔一つされずいつも出かけられました。

一方で、松本直前ガバナーは、RI会長レイ・クリンギンスミス氏の“地域を育み、大陸をつなぐ”のテーマのもと『ロータリアンにロータリーの原則の重要性を再確認してもらうこと』に留意され、「RCには今、何が求められているのか」「当地区は何を必要としているのか」「ガバナーとして私に何ができるのか」などを自問され、“会員数の減少”や“マンネリ化”が叫ばれている昨今、『今こそもう一度原点を見つめ直す必要があるのではないか』という観点から、地区のテーマを『ロータリークラブについてもう一度考えてみませんか』とされました。

まさしくロータリークラブ誕生100年をこえて種々出て来た“きしみ”を前向きに取り上げられました。まさに時を得た感があります。

ガバナー・ノミネーに指名されてから、すぐ傍に

実の兄がいるような気さくさで私に対して公私ともにご指導を賜りました。

私自身がやはりロータリーの原点を見直す機会を作っていただき、さらに路線を踏襲するべきだと気付かせていただきました。一つの事を成し遂げるには一年だけでは付焼刃になる、複数年に亘って続けるべきだと。加えてこれから先、地区予算が窮屈になると、地区予算の大幅な削減を断行されました。まさしく冷静に地区の動向を勘案されての決断でした。

私へのバトンタッチもいよいよという時に松本直前ガバナーはアクシデントから腰の手術をされ、地区協議会に2人揃って出席できませんでした。本当に残念な思いをしております。ただ、実はこれも松本直前ガバナーの本当の教育なのかなあと考えさせられました。いつまでもわしを頼りにせんといてや、もうそろそろ自分で考えてしっかりやってや!!

これからも経験の少ない年少の後輩の私をサポートしていただき、PGとして又、第2660地区の指導者の一人として早く完治され一緒に歩んでいただきたいと切望いたします。

松本直前ガバナーの気さくな中にきらりと光る助言に敬意を表し、感謝の言葉といたします。